

# キャンピングカーライフを楽しもう！ みんなで遊べば楽しさ100倍



## くるま旅からオフ会まで アクティブに楽しむ！

CASE  
01

ファミリー×キャブコン  
吉田さんファミリー(愛知県)



長年自作バンコンで趣味や旅行を楽しんできた吉田さんは、5年前にハイエースベースのキャブコンを購入。現在は、家族そろって以前よりもさらに充実したキャンピングカーライフを送っている。

遊び方のメインは、キャンピングカーに寝泊まりしながら各地を回るくるま旅。年末年始やGWには、中学3年生の長女を含む家族5人で1週間程度のくるま旅をするのが、吉田家の恒例行事だ。これまでに、青森や秋田、山形、高知、九州など、日本中を走り回り、行き当たりばったりの気ままな旅を楽しんできた。くるま旅の一番の目的は、地の物を食べることで、地元の人と交流すること。ガイドブックに頼らず、できるだけ地元の人に声をかけて情報を集め、観光地以外の穴場でのんびりと過ごすのが、吉田さん流の旅のスタイルだ。

家族全員で出かける機会が多いことから、「より安全・快適に乗れるように」と愛車の走行性能にこだわっているのも、吉田さん流だ。もともとスポーツカーでサーキット走行を楽しんでいたことから、その経験を生かしてキャブコンの足回りを自分流に

グレードアップ。スポーツカーのように「速く走る」のが目的ではなく、あくまでも「安定感と乗り心地を高め、安全性と快適性を向上させる」ことを念頭に、購入したビルダーが感心するほどのハイレベルな足回りセッティングを施している。

また、吉田さんは同車種のオーナーの交流の場として、オーナーズミーティングも定期的に主催している。「キャンピングカーが訪れ、積極的に地元で買い物をしたり食事をしたりすることで、地域振興を図る」「キャンピングカーがより社会に受け入れられるように」をコンセプトに掲げ、ミーティングの際は、必ず地元自治体と連携して駐車場やバーベキュー場所の許可をとり、ミーティング終了後には全員で清掃活動を実施。キャンピングカーを通して、そうした取り組みも積極的に行っている。

家族とのくるま旅から、オーナーズミーティングの主催まで、1年を通してアクティブに動き回る吉田さん。現在は、受験生の長女の勉強の邪魔にならないように、下の子供たちを連れてキャンピングカーで温泉に出かけるのが日課なんだとか。

### 家族全員 キャンピングカーが大好き！

旅先で食材を購入して車内で食事をするのも、広々としたキッチンで洗い物も快適。



子供たちにとって、キャンピングカーは秘密基地のようなもの。自然と笑顔がこぼれる。

## キャンピングカーでも走行性能にこだわる！



「速く走る」のではなく、あくまでも「安全・快適に走る」ことを目的に、キャブコンの足回りをグレードアップ。足回り専門のプロショップで10回以上のダンパーセッティングを繰り返し、走行安定性と乗り心地を両立した理想の足回りに仕上げた。運転席は、ホールド感の高いフルバケットタイプに換装し、長距離運転の疲労を軽減している。

## 行政とタッグを組んでミーティングを主催！



オーナーズミーティングも積極的に開催。その際は、「キャンピングカーを通じた地域振興」を目的に行政側と事前交渉や打ち合わせを行い、駐車場やBBQ場所の正式な許可を得る。参加ユーザーは、感謝の気持ちを込めて地元で買い物や食事をしたり、清掃活動を行う。そうした活動に賛同したキャンピングカーユーザーが、毎回大勢ミーティングに集まる。



キャンピングカーライフを楽しもう！  
みんなで遊べば楽しさ100倍



年末年始やお盆の休暇を利用して  
夫婦で日本全国くるま旅！



CASE  
02

夫婦×バンコン  
山本さん夫妻(東京都)

くるま旅で  
日本中を回ってます！

東京在住で、10年以上もクルマのない生活を送っていたという山本夫妻は、たまたまテレビで見たキャンピングカーショーに遊びに行つてその魅力にはまり、6年前に現在のバンコンを購入。夫婦2人旅を前提に、「マルチルームがある」「リアセミダブルベッド」のモデルを選択した。

もともと旅行が大好きでバスや電車のツアーにもよく参加していた山本夫妻だが、初めてのキャンピングカーを手に入れてからというもの、旅の回数は激増。年末年始、お盆、GWの休暇を利用して、キャンピングカーで夫婦2人旅を満喫している。「時間に縛られたツアー旅行と違って、自由な旅ができるのがキャンピングカーの魅力です

ね」という山本さん。桜や紅葉を目的とした旅行も毎年の恒例だが、その際も天気や見頃を考慮したベストタイミングで出かけるのが利点だとか。

これまでに、北は北海道、南は九州まで、全国の観光スポットを訪問してきたほか、夫婦共通の趣味である登山を楽しんだり、仲間たちとキャンプをしたりと、充実したキャンピングカーライフを満喫中。「キャンピングカーに乗って、人とのつながりや遊びのバリエーションが増えました。これからも自分たちのペースで、ゆったりと旅を楽しんでいきたいですね」。山本夫妻のキャンピングカー旅は、これからも末長く続いていくことだろう。



長崎

長崎県の雲仙温泉にて。年末年始の休暇を利用して九州をほぼ1周した。



北海道

北海道はこれまでに3回訪問。写真は、大雪山黒岳に登頂した時の1枚。



岐阜

岐阜県の白川郷で記念写真。お盆休みには毎年くるま旅を満喫している。



奈良

奈良県の吉野千本桜。ベストタイミングで桜めぐりをできるのが魅力だ。

年末年始の休みを利用して四国1周。高知にある四万十川の沈下橋にて。



高知

広大な富士山を間近に眺めながら、仲間たちと贅沢なキャンプを楽しむ。



富士山

岩手県・小岩井農場の桜並木。毎年桜めぐりのくるま旅を楽しんでいる。



岩手

## 「子供たちとの時間を大切にしたい」とキャブコンを購入



CASE  
03

### ファミリー×ライトキャブコン 岡田さんファミリー(東京都)

家族5人で充実したキャンピングカーライフを送っている岡田さんファミリー。現在乗っているキャブコンは、岡田家にとって2台目のキャンピングカーとなる。もともとライトエースベースのコンパクトなキャブコンに乗っていたものの、3人の子供たちの成長に伴って車内が狭く感じられるようになり、以前よりワンサイズ大きいキャブコンへの乗り替えを決意したという。

あえて大型のキャブコンではなく、ボンゴベースのキャブコンを選んだのは、「日本

の道路事情でストレスを感じることがないサイズ」にこだわったため。現在は機動性に優れたコンパクトな愛車の利点を生かして、キャンピングカー仲間とのオフ会やキャンプ、スキー、くるま旅など、さまざまな用途で愛車のキャブコンをフル活用している。奥さまも子供たちも、キャンピングカーが大好き！愛車のキャブコンには、「子供たちが巣立つまでの限られた時間を、家族全員で共に過ごしたい」という、岡田さんの思いが込められている。



CASE  
04

### 軽キャンパーで充実したセカンドライフを満喫！

#### 夫婦×軽キャンパー 大橋さん夫妻(滋賀県)



定年退職を機に、以前からずっと欲しかった軽キャンパーを購入した大橋さん。コンパクトサイズの軽自動車ベースであることが、キャンピングカー選びの大前提だった。購入してからまだ日は浅いが、奥さまもストレスなく運転できて2人でゆったりと就寝できる軽キャンパーは、もはや大橋夫妻の生活には欠かせない頼もしい相棒となっている。

旦那さんの軽キャンパー活用法は、趣味の釣りがメイン。奥さまと2人で行く時は堤防でアジ釣り、1人で行く時はいかだに乗って

クロダイ、アジ、タチウオ釣りと、軽キャンパーの機動性を生かして思う存分趣味の世界に没頭している。対して、近所の畑で野菜を作っている奥さまは、畑仕事に軽キャンパーをフル活用。収穫した野菜や耕運機の運搬に利用するため、旦那さんよりも奥さまの方がクルマに乗る回数が多いそう。

そんな大橋夫妻の最大の楽しみは、夫婦2人で出かける月1回ペースの自由気ままなくるま旅。「やっぱり、1人より2人の旅が楽しいですね。いつかは、全国の道の駅を完全制覇したいです！」